

(1) テーマ 学習の動機づけ

(2) 本時のねらい

- ・自分の学習に活かせるように外発的・内発的動機付けによる行動を理解する。

(3) 展開の視点

- ・始めに雪合戦と雪かきを例に挙げて外発的・内発的動機について知る。
- ・クイズをしてゲーム感覚で外発的・内発的動機付けによる行動についていくつかの事例に触れる。
- ・内発的動機と外発的動機の拮抗関係について逸話からのクイズで理解する。
- ・以上を踏まえて外発的・内発的動機を学習に活かせるように促す。

(4) 本時の展開

2006年2月6日(月) 授業者:増子・亀原・鈴木・安田

時間	活動内容	教師の支援 予想される子どもの反応
5	内発的・外発的動機について知る	「雪合戦したい人！」 手が挙がる 「やっぱりやめて雪かきをしようと思う」 反対する 「雪かきしたらテストをなしにして千円あげるからやってくれる人」 再び手が挙がる これを踏まえて内発的・外発的動機について説明
5	クイズの行動が内発的動機付けによる行動か外発的動機付けによる行動か考える	各場面の絵を見せながら対話形式でクイズをする (資料1) 手を上げて発表 近くの人と相談
5	内発的動機と外発的動機における拮抗関係について知る グループごとに別れて(近くの人と)相談して考える 考えた答えを発表	2つの拮抗関係の定義を説明 これを踏まえて問題を提示する (資料2) 時間をとって考えさせる

		先に説明した2つの拮抗関係にもう1度触れながら解答説明
5	まとめ ・2つの動機付けについてもう1度確認し、学習においては内発的動機につなげることが大切だと理解する	2つの動機付けについてもう1度説明し学習においては内発的動機につなげることが大切だということを説明する そのために学習そのものに「楽しさ」を見出すことが内発的動機につながることの第1歩だということを例示を交えて提案する

資料1

<内発的動機・外発的動機のクイズ>

Q 1 晩御飯は食べていてお腹は空いていないが、ケーキが食べたくて食べてしまった。

A 1 **内発的動機による行動**

お腹が空いたから食べたのではなく、ケーキが食べたいから食べたので。

Q 2 赤ずきんちゃんの童話の中でオオカミがおばあさんの家に行く途中の赤ずきんちゃんに花を摘んでいくように勧めた。

A 2 **外発的動機による行動**

オオカミは赤ずきんちゃんが花を摘んでいる間におばあさんの家に先回りしておばあさんを食べて、食べたそのおばあさんになりすまして赤ずきんちゃんも食べてしまおうと考えて赤ずきんちゃんに花を摘むように勧めたため。

Q 3 お腹が空いたので、どこかにご飯を食べに行った。

A 3 **外発的動機による行動**

ご飯を食べる、という目的があつての移動だから。(但しほかの要因も考えられるためこの問題は適切ではないと指摘された)

Q 4 買い物をしたらお釣りが多かったので返した。

A 4 **内発的動機による行動 外発的動機による行動**

「とにかく間違っただけ多くもらったから返さなくては」という気持ちだけで行動した場合は**内発的動機による行動**となる。

しかしそこに褒められたい・怒られたくないなどのその行動の跡に何らかの報酬・罰の期待・予測が付随するときは**外発的動機による行動**となる。

資料2

< 内発的動機と外発的動機の拮抗関係についての逸話 >

アメリカのある小さな町で、マイノリティの人が店を出した。ところがその町は、向かいから極めて差別的な風土が残っている（かなり昔の話である）地域であり、大人が子ども達を煽って、その店の前で、毎日大声で悪口を言わせるという、とんでもない暴挙に出た。困り果てた店の主人は、あるユニークな対策を考え出したのである。それは悪口を言いに来た子ども達にお金をあげるといったものだった。しかも、悪口を言わなかった子どもにお金をあげるのではなく、悪口を言いに来た子どもにお金をあげたのである。そうするとお金をもらうため、もっと多くの子どもが、もっとひどく悪口を言いようになってきた。そのあと、頃合いを見計らって、だんだん渡すお金の金額を下げたのである。そうすると、悪口を言いに来る子どもの数がだんだん減ってきた。最終的にはまったくお金を渡さないようにすると、誰も悪口を言いに来なくなったのである。

この現象は、心理学的に言うところ「内発的な動機を外発的な動機に変容させ、その外発的な動機の誘因をコントロールすることで、内発的動機を変容させる」という説明になる。子どもたちはもともと内発的に悪口を言っていた。「何か報酬として得られるから」という理由ではなく、「とにかく悪口を言うことは良いことだ」という気持ちだけで悪口を言いに来ていたのである。ところが、お金をくれるという話が変わってきたとき、外発的な動機へと変化してしまったのである。今までは自主的に悪口を言っていたのだが、無意識のうち「お金をくれるから悪口を言う」というように外発的な動機が変わってしまい、「意お金」が行動を起こす理由（すなわち誘因）になったのだ。

そのあと、行動を起こす理由である「お金」がだんだん減り、最終的にはそれがまったくなくなると、行動を起こす理由がなくなってしまい、ついには、行動を起さなくなったのである。

[これを最初の場面設定のみを伝えて、そのユニークな対策を内発的・外発的動機の原理を活かして考えてもらう]

参考・引用URL

- ・ キャリアカウンセラー・ブログ <http://shachosan.rm-london.com/>
- ・ 国語教育総合情報研究所 <http://www.jle-labo.com/100-4.html>
- ・ Watson Wyatt Review vol.25 <http://www.watsonwyatt.co.jp/publications/wwreview/wwr25/2511/index.html#>